

ベトナムの親日感情と 8 月の注目ニュース

とちぎベトナムサポートハブ

(運営：ONE-VALUE 株式会社)

2024 年 8 月

I. はじめに

ベトナム・ハノイ市に開設された、とちぎベトナムサポートハブ（愛称：とちぎハブ）より、毎月ベトナム現地の最新情報をお届けいたします。今回は、ベトナムが親日である理由の説明に加え、今月（8 月）の注目ニュースをお伝えいたします。

II. 親日国ベトナム

ベトナムは親日国だと言われています。今年 5 月には、97.2%が日本のことを「大好き」或いは「好き」と回答したという調査結果もありました。また、2023 年 11 月～12 月に外務省により行われた対日世論調査によると、最も重要なパートナー国として 68%のベトナム人が日本と回答しており、この値は東南アジア諸国の中でも最も高くなっています。そこで、今回はベトナムが親日国である理由について解説していきます。

➤ 文化的近似性

日本人とベトナム人はアジアの隣国として顔立ちや外見も似ており、特に気の優しい人が多い日本人は、ベトナム人にとって接し易い人たちと映っているようです。食文化においても、日本とベトナムは米や魚、野菜、豚肉、鶏肉をよく食べるなど、味付けも似通っています。また、年上を敬う姿勢、祖先崇拝、勤勉などは互いに中国の儒教の影響を受けていることも両国に共通しています。さらに、両国とも信仰的に仏教の影響を強く受けています。

➤ 日本はアジア随一の経済先進国

過去 50 年、日本はアジアの中で先駆けて先進国入りしました。同じアジアの近隣国が、欧米諸国に勝るとも劣らない経済的地位を国際社会で確立したことに、感銘を受けているベトナム人は少なくありません。

➤ 日本企業や日本製品の進出

2023 年 10 月に外務省が発表した「海外進出日系企業拠点数調査」によると、ベトナムに進出している日系企業数は 2,394 拠点となっています。イオン、ファミリーマート、パナソニック、ホンダ、トヨタ、味の素、エースコック、ロート生薬など日本の有名な企業が多く参入しており、日本製品は質が高く、良いイメージを持たれています。

➤ **日本は最大の援助国**

日本はベトナムにとって最大の ODA 支援国です。ベトナムの TV ニュースや新聞でも日本の支援は、頻繁に取り上げられており、日本がベトナムに多くの支援をしていることはベトナム国民に広く知られています。

➤ **日本のアニメや漫画が人気**

ベトナムでは「ドラえもん」「名探偵コナン」「ドラゴンボール」など、日本のアニメや漫画が人気です。アニメや漫画を通して、日本に関心を持つ子供や若者も少なくありません。

Ⅲ. 【8月注目ニュース】

➤ **2024年－2034年、ベトナムの GDP 成長率予想は 6.6%**

シンガポールの DBS Group Holdings と米コンサルティング会社 Bain & Company は共同で作成した報告書の中で、ASEAN 諸国主要 6 か国（ベトナム、フィリピン、インドネシア、マレーシア、タイ、シンガポール）の 2024 年－2034 年予想 GDP 成長率を発表しました。ベトナムは最も高い平均 6.6%の成長率が見込まれ、シンガポールが最も低い平均 2.2%の成長率予想となっています。

同報告書によると、ベトナムの経済成長は鈍化してきているものの、「China+1」として注目されているベトナムにとって、同国の輸出志向型経済は経済成長のアドバンテージに成り得るとしています。国内で推し進めている環境保護政策は、欧米企業を中心とした多様な投資を引き寄せ経済発展に寄与することが期待されています。

	過去の平均GDP成長率			予測
	2000-2009年	2010-2019年	2020-2023年	2024-2034年
ベトナム	6.9%	6.6%	4.6%	6.6%
フィリピン	4.5%	6.4%	2.3%	6.1%
インドネシア	5.3%	5.4%	3.0%	5.7%
マレーシア	4.7%	5.4%	2.5%	4.5%
タイ	4.3%	3.6%	0.0%	2.8%
シンガポール	5.4%	5.0%	2.7%	2.5%
6か国平均	5.1%	5.3%	2.6%	5.1%

出所：Brain & Company

➤ **トー・ラム国家主席が共産党書記長に就任**

2024 年 8 月 3 日、ベトナム共産党は臨時の中央委員会総会を開催し、トー・ラム国会主席をベトナムの最高指導者である党書記長に選出しました。任期は 2026 年 1 月の共産党第 14 回大

会までです。トー・ラム氏は、グエン・フー・チョン前書記長が亡くなる 1 日前から、党書記長の職務を代行していましたが、今回正式に書記長に選出された形になります。同氏は党序列 2 位の国家主席も兼任しています。公安省出身のトー・ラム氏は、グエン・フー・チョン前書記長が進めていた「汚職撲滅運動」の舵取りを務め、多くの政府高官や大物企業関係者を逮捕、辞任に追い込んできました。

選出直後、トー・ラム氏は今回の書記長選出を「光栄なことだ」とし、「緊急の必要性に迫られた決定」とも強調しました。同氏は「誰が標的になるか関係なく、汚職との戦いを推進し続ける」とも述べました。トー・ラム氏は長期政権の座に居座るとの観測がある一方、一人の強い権力を持ったリーダーの誕生により、最近のベトナムの政治的混乱も終焉するのではとの期待の声もあります。

とちぎベトナムサポートハブ

<所在地> 14F, Viet A Building, No.09 Duy Tan, Cau Giay, Hanoi, Vietnam

HP: <https://onevalue.jp/>